

会議要録

会議名	第1回港区小中学生海外派遣事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年10月30日（水曜日） 午後4時から5時まで
開催場所	港区立教育センター 研修室3
委員	【出席者】 秋田博昭、金森強、粕谷恭子、吉野達雄、大久保和彦
事務局	清水浩和（教育指導担当課長）、下橋良平（統括指導主事）、 花井拓也（指導主事）、鈴木友里江（教職員人事係）、 澤木俊宏、堀内遥、小林あかり（教育支援係）
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配付資料	[配付資料] 資料1 港区小中学生海外派遣事業業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 港区小中学生海外派遣事業業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料4 港区小中学生海外派遣事業業務委託事業候補者募集要項（案） 別紙1 仕様書（案） 別紙2 港区小中学生海外派遣事業業務委託事業候補者選考基準（案） 【様式1】質問書 【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式3】共同事業体構成書 【様式3－2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3－3】委任状 【様式4】事業者概要及び業務実績 【様式5】業務従事予定者の経歴 【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式7】企画提案書 【様式8】見積書 【様式9】プロポーザル参加辞退届 資料5 採点基準表（一次審査）（案） 資料5－2 採点基準表（二次審査）（案）

会議の結果及び主要な発言

A委員	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 【委員長の選出について】 グローバル化する社会における学習や児童等の育成について造形が深いB委員を推薦したいと思うがいかがか。 → 委員長にB委員を選出
委員長	【副委員長の選出について】 副委員長には、行政側の委員を代表してC委員にお願いできればと思うがいかがか。 → 副委員長にC委員を選出
事務局	【趣旨及び経緯について】 (経緯や概要の説明)
D委員	行先も選ぶということであっているか。
事務局	ご認識のとおりである。
事務局	3 選考委員会選考スケジュール(案)について (資料3の説明) → 了承
事務局	4 事業候補者募集要項(案)について 5 採点基準表(案)について ※4及び5を関連する項目として一括で審議 (資料4から資料5-2までの説明)
D委員	採点基準表は応募者には開示されるか。
事務局	採点基準表については、選考委員会のみで使用するものであり、開示されない。評価の視点は選考基準に要約して記載する。
B委員	事業規模については、子どもたちが有用な体験ができるという基準で設定した事業規模の金額となっているか。
事務局	ご認識のとおりである。これまでにについても同額の規模で実施している。また、事前に複数の事業者から見積を取得しているが、一番金額が低い事業者の見積金額を提案額に設定した訳ではなく、複数の事業者のなかで、この金額であればこれまでの質の担保ができるという視点で設定している。

E 委員	資料５－２について、二次審査のウの創造性・発展性が伺える提案がされているかについて、どのような提案が創造性と発展性があるのか教えてほしい。
事務局	事業者は仕様書に基づいて提案書を作成するが、仕様書の内容を土台として、これまでの実績やノウハウ、経験を基に内容を膨らませて海外派遣が有用なものになるように提案できているかどうかという視点で質問していただき、採点いただきたいと考えている。例えば、仕様書の項番４業務内容の（７）見学学習については、市内観光等を検討しており、その中で大学に行ってみたりＳＤＧｓに関連することを行ったり等の事業者としての新たな提案が見られれば評価いただきたいと考えている。
C 委員	提案であるが、資料５－２の採点基準表について、評価のポイントの補足説明を記載するのはいかがか。
事務局	承知した。
C 委員	仕様書項番４業務内容の（２）添乗員等のオの見学学習について、前段のなかで説明が記載されていない。この記載のつくりについて、修正いただきたい。
事務局	エの現地校体験についても当てはまると思うので、修正する。
C 委員	仕様書（５）イのアレルギーについて、参加者に聞き取り対応を行うとあるが、もう少し細かく書かなくてよいのか。
事務局	聞き取って必要な対応をする旨に文言修正する。
C 委員	仕様書（８）ホームステイ先について、条件をつけなくてよいのか。ホームステイ先に子どもがいなくてもよいのか。
事務局	評価する項目になるのであえて縛りはいれてない。そこは評価点になる。
C 委員	事務局として仕様書に加えない場合、どの事業者からも提案がなくてもそれでよいと考えているのか。
事務局	生活上の不安を感じないという文言はあるので、それを踏まえて事業者から提案していただきたいと考えている。
B 委員	見積額について評価することになっているが、委員が評価するのは難しいと考える。
事務局	プロポーザルによっては、事務局が採点する場合もある。事務局採点では金額が低いほど点を高くすることが多いが、今回は費用対効果をみて、点を高くするという選択肢もあるため委員が評価してほしいと考えている。
C 委員	事務局採点にするかどうかの検討はあったか。

事務局	検討したが、提案内容とセットで評価いただきたいため委員採点にした。
委員長	【一次審査の通過事業者数について】 一次審査の通過事業者数について、3者程度でよいか。
D委員	過去の実績を伺いたい。前回は何者から応募があったのか。
事務局	前回実施した際は2者応募があった。 → 3者程度とすることです承
委員長	【評価項目について】 評価項目は事務局案でよいか。 → 了承
委員長	【各項目の配点について】 各項目の配点は事務局案でよいか。 → 了承
委員長	【提案書等の各様式について】 各評価項目を採点するための提案書等の各様式（様式4～様式8）は事務局案でよいか。 → 了承
委員長	【基準点について】 一次審査、二次審査のそれぞれの満点の60%を基準点（最低ライン）として設定してよいか。 → 了承
	6 閉会